



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 エイジア

上場取引所 東

コード番号 2352 URL <https://www.azia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 美濃 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 藤田 雅志

TEL 03-6672-6788

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	881	13.0	181	18.2	189	24.7	128	29.4
2019年3月期第2四半期	780	8.7	153	2.0	152	2.7	98	1.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 108百万円 (22.3%) 2019年3月期第2四半期 88百万円 (13.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	32.34	
2019年3月期第2四半期	24.31	24.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	1,739	1,397	79.9	351.32
2019年3月期	1,688	1,364	80.4	342.95

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,390百万円 2019年3月期 1,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,950	14.5	446	20.0	445	20.1	300	131.1	75.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,412,400 株	2019年3月期	4,412,400 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	454,989 株	2019年3月期	454,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,958,353 株	2019年3月期2Q	4,069,501 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2019年10月31日(木)に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国の経済は、国際情勢の不安定さが増すなかで景気下振れリスクが懸念され、国内景気指数も悪化が懸念されました。当社グループの主力顧客であるEC事業者の市場環境は堅調に推移し、2018年の日本国内のBtoC-EC（消費者向け電子商取引）の市場規模は18兆円と前年比9.0%増加し、全ての商取引における、ECによる取引の割合を示す「EC化率」についても前年から0.43ポイント上昇して6.22%となりました。（経済産業省「平成30年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」より抜粋）

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における事業状況は以下のとおりです。

① 第2四半期売上高として10期連続増収・ストック売上比率81.4%

当第2四半期連結累計期間は、売上高が881百万円（前期比13.0%増）となり10期連続で増収いたしました。後述のとおりクラウドサービスが好調に推移し、大幅に伸長したことが主な要因です。ストック性の売上であるクラウドサービスの伸長に伴いストック売上比率も81.4%となり、前年同期の81.0%から0.4ポイント増加いたしました。

② 営業利益が対前期比18.2%増・過去最高益を更新

当社は当第2四半期連結累計期間の営業利益が181百万円と前期比18.2%増加し、ほぼ計画通り着地し過去最高益を更新いたしました。特にアプリケーション事業の成長によりコンサルティング事業やEC事業の損失分を吸収し増益いたしました。

③ クラウドサービス（ASP・SaaS）※1が前期比18.8%増と大幅に伸長

クラウドサービスはいわゆるサブスクリプションモデルで安定的な成長が見込まれる収益基盤であり、当社が長年強化をしてきたサービスです。当社のクラウドサービスは廉価プランである「ASP」と高価格帯プランである「SaaS」に大きく分かれます。

当第2四半期連結累計期間では、SaaSにおいて大型案件が前倒しで進捗したことや月額売上の積上げが計画を上回る水準で進んだことにより、SaaS初期売上が前期比35.0%増、SaaS月額売上が16.7%増と増加いたしました。

（単位：千円）

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	2019年3月期 第2四半期連結累計期間	2020年3月期 第2四半期連結累計期間
クラウドサービス売上高	417,338	450,570	535,456
前期比増減額	+43,843	+33,232	+84,886
前期比増減率	+11.7%	+7.9%	+18.8%

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高881,459千円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益181,278千円（前年同四半期比18.2%増）、経常利益189,655千円（前年同四半期比24.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益128,020千円（前年同四半期比29.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① アプリケーション事業

当第2四半期連結累計期間においては、前述のとおり、クラウドサービスが前期比18.8%増となり大幅に伸長いたしました。一方ライセンス販売は、通常期末に納品となる大型案件が多い状況の中で、前年同期は約35百万円の大型案件が発生したことの反動により前期比19.8%減少しました。

また、製品開発においては、主力のメール配信システム「WEBCAS e-mail」のメジャーバージョンアップ開発に加え、LINEの料金プランが変更となることによりLINE公式アカウントを保有する企業はこれまでの一斉配信がコスト的に大きく負担増となり、LINEユーザー毎の購買履歴や属性に応じて必要な人にだけ適切なメッセージを配信するパーソナライズ配信の需要が高まることを見越し、パーソナライズLINEメッセージ配信システム「WEBCAS taLk」の機能追加開発を推進してまいりました。

その結果、アプリケーション事業全体の売上高は671,969千円（前年同期比10.4%増）、売上高総利益率71.1%（前年同期比3.5ポイント増）となりました。

②コンサルティング事業

子会社FUCAで推進してきた大型Web制作案件の受注が一巡しデザインサービスは前期比微増にとどまりました。一方、メールコンテンツの定期案件がいくつか顧客都合により終了するなどしたため、新規案件の獲得へ向けて営業活動を強化しておりますが9月までの売上計上には至らずコンサルティングサービスが約20%と大幅に減少しました。

その結果、コンサルティング事業全体の売上高は134,239千円（前年同期比10.4%減）、売上高総利益率15.3%（前年同期比0.9ポイント増）となりました。

③オーダーメイド開発事業

当該セグメントは、アプリケーション事業における製品開発を推進するべく社内エンジニアリソースをアプリケーション事業に集中させたため、今期も新規の受注活動を積極的には展開せず、利益率の高い案件を継続していく活動をいたしました。

その結果、オーダーメイド開発事業全体の売上高は8,205千円（前年同期比12.0%増）、売上高総利益率31.1%（前年同期比29.1ポイント減）となりました。

④EC事業

当該セグメントは、アプリケーション事業における製品開発を強化するため、EC事業のマーケティングノウハウ吸収を目的にベビー服ECサイトを2018年9月1日に事業買収し新設した事業セグメントです。

当該事業は100%子会社「株式会社ままちゅ」が運営する自社ECサイト「べびちゅ」（<https://babychu.jp/>）がセグメント対象となります。

当第2四半期連結結果計期間においては、春物の繁忙期となる4月は順調に推移したものの、ゴールデンウィークの10連休がゴールデンウィーク後の消費に想定以上に影響したことや天候不良による影響により販売状況が振るいませんでした。

その結果、EC事業の売上高は67,045千円、売上高総利益率は40.5%となりました。

セグメント別売上高及び売上高総利益率

		2019年3月期 第2四半期連結累計期間		2020年3月期 第2四半期連結累計期間	
		金額・利益率	構成比	金額・利益率	構成比
アプリケーション事業	売上高（千円）	608,831	78.1%	671,969	76.2%
	売上高総利益率	67.6%	—	71.1%	—
コンサルティング事業	売上高（千円）	149,751	19.2%	134,239	15.2%
	売上高総利益率	14.4%	—	15.3%	—
オーダーメイド開発事業	売上高（千円）	7,326	0.9%	8,205	0.9%
	売上高総利益率	60.2%	—	31.1%	—
EC事業	売上高（千円）	14,183	1.8%	67,045	7.6%
	売上高総利益率	53.2%	—	40.5%	—
合計	売上高（千円）	780,093	100.0%	881,459	100.0%
	売上高総利益率	57.0%	—	59.9%	—

※1 クラウドサービス（ASP・SaaS）

ソフトウェア提供者（この場合、当社グループ）が管理するサーバー上で稼働しているソフトウェアを、ユーザー企業がインターネット経由でサービスとして利用する形態。ユーザー企業は、サーバー・ソフトウェアの管理やライセンス費用の負担なく、毎月の使用料を支払うことで、比較的安価な利用が可能となります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて51,484千円増加し、1,739,598千円(前連結会計年度末比3.0%増)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が66,175千円増加したことにより41,011千円増加いたしました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ有形固定資産が5,036千円減少し、無形固定資産が36,304千円増加し、投資その他の資産が20,794千円減少したことにより10,473千円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて19,101千円増加し、342,358千円(前連結会計年度末比5.9%増)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ買掛金が6,937千円減少した一方で、前受収益が17,306千円、賞与引当金が14,729千円増加したことにより13,559千円増加いたしました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ株主優待引当金が4,866千円増加したことにより5,541千円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ32,383千円増加し、1,397,239千円(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。これは、剰余金の配当80,588千円を行った一方で、主に親会社株主に帰属する四半期純利益128,020千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて66,375千円増加し、911,564千円(前連結会計年度末比7.9%増)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な発生要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、192,442千円(前年同四半期連結累計期間に営業活動の結果支払われた資金△3,347千円)となりました。主な資金増加要因は、税金等調整前四半期純利益180,810千円、売上債権の増減額50,056千円によるものであり、主な資金減少要因は、法人税等の支払額53,255千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支払われた資金は、46,173千円(前年同四半期連結累計期間に投資活動の結果支払われた資金157,532千円)となりました。主な資金減少要因は、無形固定資産の取得による支出37,617千円、有形固定資産の取得による支出7,476千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支払われた資金は、79,902千円(前年同四半期連結累計期間に財務活動の結果支払われた資金170,735千円)となりました。資金減少要因は、配当金の支払額79,902千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において、通期の連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,666	824,842
受取手形及び売掛金	246,536	196,261
商品及び製品	11,627	13,786
仕掛品	20,344	17,529
貯蔵品	654	1,377
預け金	86,521	86,771
その他	44,532	69,326
流動資産合計	1,168,885	1,209,896
固定資産		
有形固定資産	118,603	113,566
無形固定資産		
のれん	19,085	16,925
その他	55,209	93,674
無形固定資産合計	74,294	110,599
投資その他の資産		
投資有価証券	200,421	172,496
繰延税金資産	80,107	90,629
その他	45,801	42,409
投資その他の資産合計	326,330	305,536
固定資産合計	519,228	529,702
資産合計	1,688,113	1,739,598
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,917	17,979
未払法人税等	59,071	60,592
預り金	15,004	8,995
前受収益	60,728	78,035
賞与引当金	26,080	40,810
その他	89,059	82,008
流動負債合計	274,862	288,422
固定負債		
株式給付引当金	26,830	29,464
長期前受収益	9,613	7,610
資産除去債務	11,951	11,995
株主優待引当金	-	4,866
固定負債合計	48,395	53,936
負債合計	323,257	342,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	322,420	322,420
資本剰余金	366,572	366,572
利益剰余金	899,342	948,322
自己株式	△319,523	△316,336
株主資本合計	1,268,811	1,320,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,151	69,339
為替換算調整勘定	△530	-
その他の包括利益累計額合計	88,620	69,339
非支配株主持分	7,423	6,921
純資産合計	1,364,856	1,397,239
負債純資産合計	1,688,113	1,739,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	780,093	881,459
売上原価	335,296	353,593
売上総利益	444,796	527,865
販売費及び一般管理費	291,418	346,586
営業利益	153,378	181,278
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	678	1,141
持分法による投資利益	-	831
未払配当金除斥益	164	200
助成金収入	-	5,773
その他	31	481
営業外収益合計	881	8,434
営業外費用		
持分法による投資損失	1,631	-
為替差損	49	-
雑損失	-	57
その他	525	-
営業外費用合計	2,207	57
経常利益	152,053	189,655
特別損失		
固定資産除却損	20	-
投資有価証券評価損	1,822	-
関係会社株式売却損	-	4,014
株式報酬費用	-	4,829
特別損失合計	1,842	8,844
税金等調整前四半期純利益	150,210	180,810
法人税、住民税及び事業税	46,622	55,105
法人税等調整額	4,278	△1,778
法人税等合計	50,900	53,327
四半期純利益	99,309	127,483
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	371	△537
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,938	128,020

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	99,309	127,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,722	△19,812
為替換算調整勘定	△145	530
その他の包括利益合計	△10,868	△19,281
四半期包括利益	88,440	108,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,069	108,740
非支配株主に係る四半期包括利益	371	△538

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	150,210	180,810
減価償却費	18,865	15,923
のれん償却額	1,644	2,160
株式報酬費用	2,380	8,940
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,219	14,729
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	-	4,866
受取利息及び受取配当金	△679	△1,147
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5,946	5,820
助成金収入	-	△5,773
持分法による投資損益 (△は益)	1,631	△831
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,822	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	4,014
固定資産除却損	20	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,296	50,056
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,473	△66
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,683	△6,957
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△26,184	△29,388
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△6,724	△2,986
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△36,384	563
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△2,670	△2,002
その他	61	43
小計	72,580	238,776
利息及び配当金の受取額	679	1,147
助成金の受取額	-	5,773
法人税等の支払額	△76,608	△53,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,347	192,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,924	△7,476
無形固定資産の取得による支出	△42,037	△37,617
事業譲受による支出	△33,000	-
有価証券の取得による支出	△42,570	-
差入保証金の差入による支出	-	△182
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△1,097
その他	-	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,532	△46,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△96,346	-
配当金の支払額	△74,389	△79,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,735	△79,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△331,698	66,375
現金及び現金同等物の期首残高	1,122,066	845,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	790,367	911,564

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。